

社員が誇れる会社を目指し、スタートを切る。

自動車用各種部品の開発・製造を行う株式会社東海理化の連結子会社として、東北で初めて設立された株式会社東海理化トウホク。秋田県横手市への設立の経緯と今後の方針について伺った。



株式会社東海理化トウホク
代表取締役社長 福田 一成

〒013-0054
横手市柳田4-9
TEL. 0182-32-1151
FAX. 0182-32-1152
<https://trtohoku.co.jp/>

HP



東北での自動車製造数増加に伴い、進出

愛知県に本社がある株式会社東海理化。国内の関連会社は中部地方に集中していたが、大手自動車メーカーの製造工場が東北地方へ進出し、生産台数が増加していることを受け、大型部品を供給する東海理化グループでも、輸送コスト削減などの課題解決のため東北進出の検討をはじめた。「立地は申し分ない横手市ですが、雪道での運送が懸念点でした」と話すのは代表取締役社長の福田一成さん。従来、運送の手配はサプライヤー（部品供給メーカー）が行うのが原則だったが、東北地域で自動車メーカー側が複数のサプライヤーを巡回して引き取り集荷を行う『ミルクラン』が開始され、そのルートに横手地域が含まれたことが横手市への新会社設立の要因の一つとなった。

新工場は2024年6月に竣工式を終え、9月23日から稼働。10月7日に初出荷を迎えた。工場開設にともない48名を新規で採用しているが、今後の生産計画を見据えると2027年までにさらに100人前後の採用が必要だという。

地域と共生し、地域に貢献する会社

本社からの出向者は4名で、愛知県で1年弱の研修を受けたメンバーがリーダーとして現場を牽引できるよう体制を整えた。今後は新人の人材育成も横手市で行うことにしている。

「想定よりも若い人材を採用できていますが、まだまだ人材は必要です。若いスタッフは横手市出身が多く、相手に合わせて話ができる。おかげでコミュニケーションは円滑だし、和気あいあいとした雰囲気ができあがっています」と福田社長は安心した表情を見せる。

東海理化グループは地域貢献を命題とし、地域に根ざした活動に積極的だ。すでに横手市のかまくら祭りへの参加や地元のイベントに協賛しており、10月初旬には中学生の硬式野球の大会『東海理化トウホクカップ』を開催した。また、社員には福利厚生としてスタッドレスタイヤ購入補助や動画配信サービスの補助なども行っている。「今後も社員が会社に誇りを持てるような取り組みを継続したい」と意気込みを語ってくれた。



真新しい工場内の様子。
本格稼働に向け、少しずつ製造ラインを整えている状況だという。



同社が生産する自動車部品。



受付ロビーは若手社員の考案によるレイアウト。